

創造・参加・実践
No.622

最新のJR西労組運動をチェックしよう!

JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



ダイレクトニュース(メール)



JR西労組 LINE



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL:06-6375-9869代 JR071-7155代

(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 荻山 市朗

編集責任者 宮野 勇馬

「安全確立」「事故の再発防止」に全力を!

伯備線触車事故から13年 寒空の中、安全を誓う

2006年1月24日に伯備線触車事故が発生してから13年が経過した。米子地本では、安全の集いが開催され、寒空の中多くの組合員が集まった。集い終了後は、参加者全員で根雨保線管理室横に建てられた安全碑において「安全の誓い」を述べ、3名の御霊に対し哀悼の誠を捧げるとともに、「二度とこのような事故が起きないよう、安全への誓いを新たにしました。」

米子ワシントンホテルで開催された「米子地本2019年安全の集い」には、米子地本の組合員をはじめ約100名の組合員が集まった。中央本部からは、城副委員長、福本業務部長、山中工務部会長の3名が出席した。

主催者代表挨拶、来賓紹介の後、伯備線触車事故のニュース映像を視聴し、尾川業務部長から事故後の経過とJR西労組の取り組みについて報告があった。また、当時米子支社に勤務していた中央本部山中工

務部会長より、「線路内作業の安全確保のために」と題した特別講演が行われた。



特別講演を行う山中部会長

安全の集い終了後、中央本部は、米子地本執行部とともに日野町根雨保線管理室横に建てられた安全碑に



安全碑の前で安全を誓う

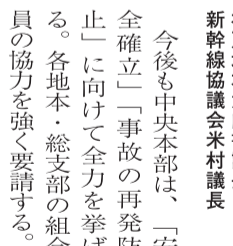
務部会長より、「線路内作業の安全確保のために」と題した特別講演が行われた。

亡くなった仲間への御霊を慰める。安全の確保がひいては鉄道の安全の確立につながる」との信念のもと、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を完遂すべく全力を尽くす、との決意を述べた。

明石・朝霧駅間触車事故から18年
また1月24日は、2001年の同日に発生した、山陽本線・明石・朝霧駅間触車死亡事故から18年



た、山陽本線・明石・朝霧駅間触車死亡事故から18年が経過した日である。神戸地本の内書記長、新幹線協議会の米村議長(福岡地本委員長)は、現地において献花行動を行うとともに、加古川保線区西明石管理室にJR西労組の求めで2017年3月に建てられた「安全の碑」の前で、安全への誓いを新たにしました。



御霊に安全を誓う
神戸地本内書記長と新幹線協議会米村議長
今後中央本部は、「安全確立」「事故の再発防止」に向けて全力を挙げる。各地本・総支部の組合員の協力を強く要請する。

6年連続のベア獲得を! 第2回賃金対策委員会を開催

中央本部は1月21日(月)、中央本部会議室に於いて、第2回賃金対策委員会を開催した。各地本・総支部の代表者とともに、2019年春季生活闘争の方針について熱く議論を交わした。会議に先立ち、中央本部を代表して荻山委員長は、「昨年は西日本豪雨があり、2018年度決算にも一定程度の影響があった。



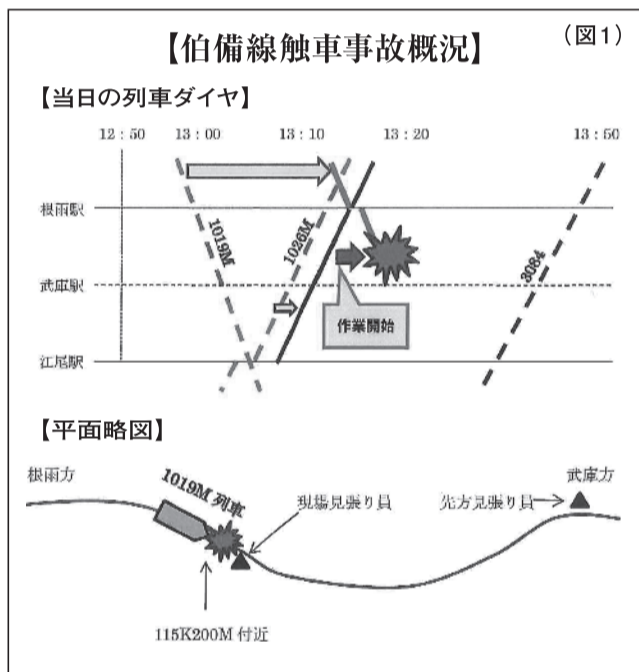
2019春闘の方針(案)について説明する
禪野賃金対策部長

※第37回中央委員会では議論される内容については、JR西労組ニュースNo.71(1月25日発行)「職場討議資料」をご覧ください。

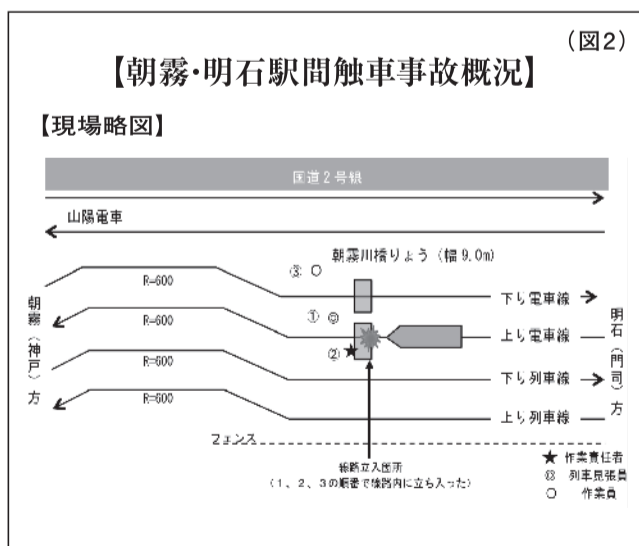
しかし、組合員の尽力で復旧は進んでおり、好調な経営状態が続いている。春闘では、成果の公正な配分をキッチリと求めていく」と挨拶を行った。
会議では禪野賃金対策部長から、国内外の取り巻く状況、連合の2019春闘方針、JR連合2019春闘方針について説明があった後、JR西労組の2019春季生活闘争方針(案)の提起がなされた。
また、総合生活改善等に関する申し入れを含め、大阪リバーサイドホテルにて開催される「第37回中央委員会」において、JR西労組の春闘方針が決定される。2019春闘の勝利を勝ち取るため、各級組合員の積極的な参加・参画を要請する!



100名が安全の集いに集まった



2006年1月24日13時18分頃、JR伯備線の根雨駅～武庫駅間で保線作業を行っていた仲間3名が、遅れてきた特急列車(スーパーやくも9号)にはねられ命を落とした。事故後、再発防止に向け、GPS列車接近警報装置、可搬式区間防止装置(ATS)、触車事故防止準則の改正など様々な安全対策が講じられた。



2001年1月24日9時34分頃、山陽本線明石・朝霧駅間の朝霧川橋梁上り電車線において、線路内で現場調査を行っていた保線係員1名が、姫路発米原行の快速電車(電第736T列車)に衝撃し、命を落とした。事故後、5秒ルールの制定などの安全対策が講じられた。